

2019 地域シンポジウム

# 子どもに配られた「放射線副読本」は、 新たな「原発安全神話」を生むのが！



◎日時 2019年11月23日(土)  
13:30~16:30  
◎場所 ウェンディひと・まちプラザ 北棟5階 研修室B  
(広島市まちづくり市民交流プラザ)  
住所: 広島市中区袋町 6-36 電話: (082)545-3911

## ◎日程・内容

13:00 受付

13:30 開会行事 あいさつ・基調報告

13:40 第1部:問題提起

・「放射線教育で子どもに伝えることは」

講師:根岸富男さん

(原子力教育を考える会、神奈川県立高校教員)

・「福島原発事故を経験して」

講師:渡部美和さん

(福島原発ひろしま訴訟原告団代表)

15:10 第2部:パネルディスカッション

・「放射線副読本を使った原子力教育・教育行政を  
どうするか」

16:20 閉会行事 あいさつ

◎参加費 無料

文部科学省は、昨年10月に、全国全ての小・中学校と多くの高等学校に、児童生徒分の再改訂版『放射線副読本』を配布しました。

この『放射線副読本』には「放射線や放射能は自然界や食べ物など、身の回りにも日常的に存在しているもの」、「レントゲンなど放射線は私たちの生活を豊かにしている」など、放射線が安全であるかの如く記述されるなど、大変問題の多い内容となっています。

本シンポジウムでは、この副読本の問題性を明らかにし、児童生徒に放射線教育でどんなことを考えさせたらよいかを考えていきたいと思っています。

ぜひ、お誘い合わせの上、ご参加ください。



☆参加申込先☆

広教組の各支区・ブロックか  
広島平和教育研究所へお願いします。

広島平和教育研究所

TEL:082-264-1751

FAX:082-264-1757

E-mail: hipe@iris.ocn.ne.jp